

計画の名称	安全で安心して暮らせるまちをつくる下水道（防災・安全）													
計画の期間	平成31年度～平成32年度（2年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	愛川町													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		165	A	165	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		31		32
1	下水道による「桜台排水区」の浸水対策達成率を0%から20%に増加させる。			
	下水道により浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、本町が定めている5年に1回発生する規模の雨量に対して安全であるよう、下水道雨水整備が完了している区域の面積割合 浸水対策が完了済面積(ha)／浸水対策を実施すべき面積(ha)	5%	0%	20%
2	下水道による「小沢排水区」の浸水対策達成率を0%から20%に増加させる。			
	下水道により浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、本町が定めている5年に1回発生する規模の雨量に対して安全であるよう、下水道雨水整備が完了している区域の面積割合 浸水対策4が完了済面積(ha)／浸水対策を実施すべき面積(ha)	0%	0%	20%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	H32	H33	H34	H35			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	愛川町	直接	愛川町建設 部下水道課	管渠（ 雨水）	新設	桜台排水区主要な管渠（ 浸水対策）	基本設計A=99ha 管渠工A=23 ha	愛川町	■	■				145	—	
	A07-002	下水道	一般	愛川町	直接	愛川町建設 部下水道課	管渠（ 雨水）	新設	小沢排水区主要な管渠（ 浸水対策）	詳細設計 用地測量 管渠工 U1800×1500	愛川町		■				20	—	
											小計						165		
											合計						165		

